

世界のSBIを目指して

1st Stage

Since **1999年**

SBIグループ創業

ソフトバンクの事業再編成を受けて、ソフトバンク管理本部55名がソフトバンク・ファイナンスとして独立。金融関連分野の事業活動を統括する事業持株会社となりました。

「新産業クリエイター」としてインターネット産業へ集中投資

ソフトバンク・インベストメント(現SBIホールディングス)が、当時最大規模となる出資約束金額1,505億円のインターネットテクノロジーファンドを2000年に設立。IT関連ベンチャー企業への集中投資を実行し、日本のインターネット産業の創造に貢献しました。

1999年のグループ創設以来、“顧客中心主義”を貫き、インターネットと金融のノウハウを最大限に活用し、より低価格で便利なサービスを提供するSBIグループ。わずか10年で、ベンチャーキャピタル、証券、銀行、保険など、広範囲な金融サービスを有する金融コングロマリットへと飛躍的な成長を遂げました。

「日本のSBIから世界のSBIへ」

次世代産業の創出と育成を担うリーディング・カンパニーを目指して、そのフィールドは世界へと広がります。より豊かな社会を創出するために。SBIグループは「Strategic Business Innovator（戦略的な事業の革新者）」として、さらなる進化を続けます。

2nd Stage

2011年

「世界のSBI」への変貌を目指して

インターネット金融コングロマリット体制の確立

国内個人株式委託売買代金で圧倒的なシェアを有するSBI証券に加え、2007年には住友信託銀行との合併により住信SBIネット銀行、2008年にはあいおい損害保険（現あいおいニッセイ同和損害保険）との合併によりSBI損害保険を設立。証券、銀行、保険などの多様な金融商品・サービスをインターネットを通じて提供するインターネット金融生態系を構築しました。

国内における事業展開が概ね完了したSBIグループ。国内事業の収益性の向上を目指した組織再編成を実行すると同時に、今後のさらなる成長のためにアジアをはじめとする新興国の経済成長を捉えるべく、海外現地有力パートナーとの合併ファンドの運営や、国内で確立した金融事業の海外移転を通じて海外における事業を拡大しています。さらに、香港の第2本社化などを通じて海外における事業体制を強化。海外にも軸足を置き、グローバル企業への転換を図ります。